**第１５回春の全国中学生ハンドボール選手権大会安全対策**

大会実行委員会

**●大会時の保険について**

１　選手は、あらかじめ健康診断を受け、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

（傷害等が発生した場合、独立行政法人日本スポーツ振興センターから災害共済給付がある。）

２　単独中学校チーム、合同チーム及びクラブチームの監督、コーチ等は、役員として、

傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

３　大会役員、競技役員、生徒役員、観衆等の傷害については、大会期間中、毎日別途の傷害保険（１日レクリエーション保険等）に加入し対応する。

**●救急対策について**

１　大会期間中、試合会場に整形外科医を配置するほか、保健師または看護師、養護教諭及び接骨院医師を配置する。

２　会場にAED（自動体外式除細動器）が設置されていることを確認し、大会運営者に複数のAED取扱講習会受講者を配置して不測の事態に備える。

３　緊急搬送用車両の手配をする。

４　大会期間中、下記の病院を救急病院として指定する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 医療機関名 | 所在地 | 電話番号 | 診療科目 |
| 金沢医科大学氷見市民病院 | 氷見市鞍川1130 | 0766-74-1900 | 総合 |

**●緊急避難対策について**

　１　地震等の災害に対する避難経路、避難場所を明示して、安全を最優先する。

**●公衆衛生対策**

 大会前

１　宿泊施設業者及び食品販売テナント業者名の届け→高岡厚生センター氷見支所

２　宿泊施設業者及び食品販売テナント業者従業員の検便実施

３　宿泊施設業者及び食品販売テナント業者対象の公衆衛生講習会実施

４　高岡厚生センター氷見支所による利用施設の水質検査、衛生検査等の実施

５　消毒薬、中和剤の配置（体育施設）

６　公衆衛生啓発パンフ、チラシの配布（参加チーム、宿泊施設業者及び食品販売

テナント業者）

大会時

１　選手の健康状態聞き取り調査

２　トイレ、洗面所の定期巡回点検及び張り紙等による注意喚起

３　医師及び養護教諭等の配置

４　市内及び近隣市町村病院（主に高岡市）との連携

５　高岡厚生センター氷見支所との連携